

明治のころ 人の行ききが多くなり、主に、矢吹、須賀川、白河、石川への道路がととのえられてきました。このころは、人は歩くことが中心でしたが、荷物などは、馬車や荷車にのせて運びました。

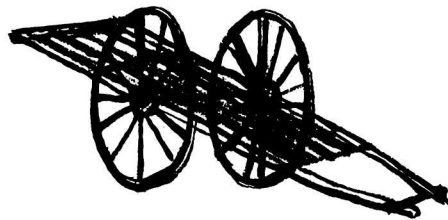
かごにかわって、人力車ができました。

白河には、客をのせるために人力車が、駅前には、客をのせるために人力車が、昭和のはじめころまで見られました。



人力車

荷車



馬車

